

特別養護老人ホーム入所申込者 調査結果報告書

令和8（2026）年5月

柏崎市福祉保健部介護高齢課

■調査目的

特別養護老人ホームに入所を申し込まれた方について、本人が希望していないケースや緊急度が低いケースが見受けられることから、現実的に入所の意向がある方の実態を把握するとともに、介護サービスの基盤整備に反映していくことを目的とする。

■調査対象

柏崎市に住民登録があり、特別養護老人ホームに入所を申し込まれている方

■調査方法

郵送による対象者全集調査

回答方法

- ① 対象者に調査票を郵送し、返信用封筒にて回収
- ② 柏崎市スマート申請（Graffer）アンケート機能から回答
※入所を申し込まれている方または、その方の状況が分かる方が回答。
（家族、ケアマネなど）

■調査期間

令和8（2026）年3月2日～3月31日

■調査対象者数及び回答数

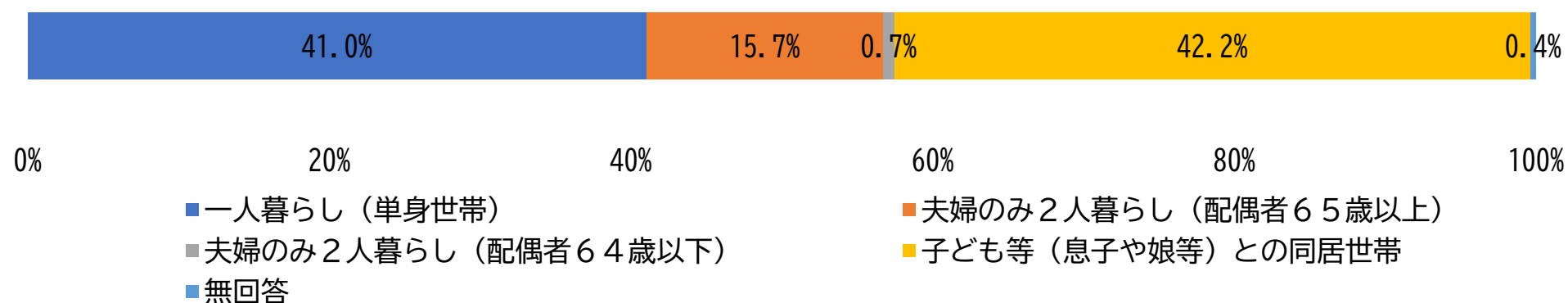
調査対象者数 497名

有効回答数 268名 （回答率 53.9%）

■問1 世帯構成

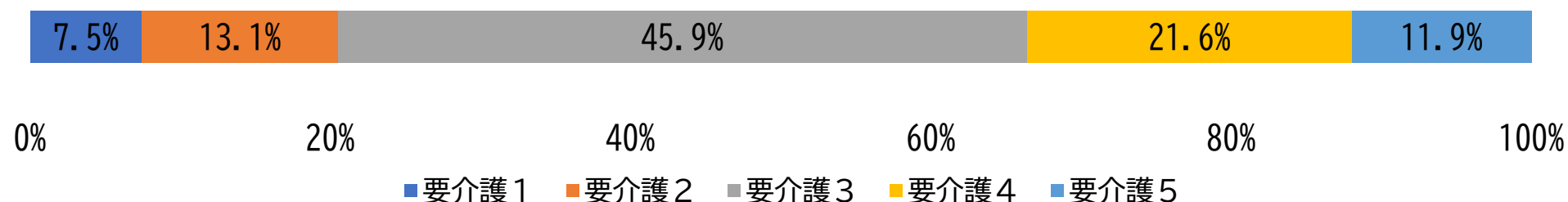
子ども等との同居世帯（42.2%）と一人暮らし世帯（41.0%）が多くを占め、夫婦のみ世帯が16.4%となっています。

夫婦のみ世帯は、将来的な老々介護の可能性が考えられます。



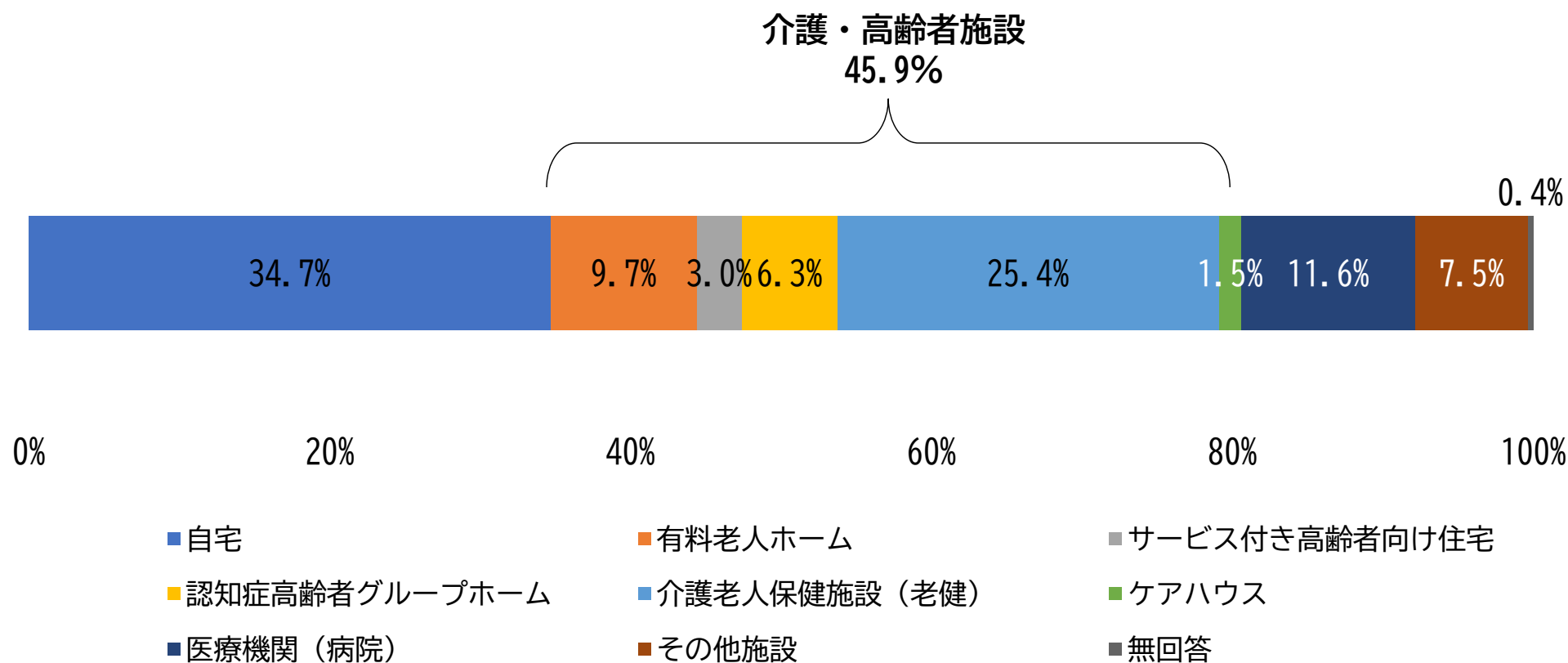
■問2 要介護度

要介護3（45.9%）が最も多く、次いで要介護4（21.6%）となっており、特別養護老人ホーム入所対象者となる中～重度者は全体の8割程度となっています。



■問3 現在の生活場所

自宅（34.7％）が最も多く、次いで介護老人保健施設（25.4％）となっています。
全体の45.9％と約半数が、介護・高齢者施設へ入居している状況です。

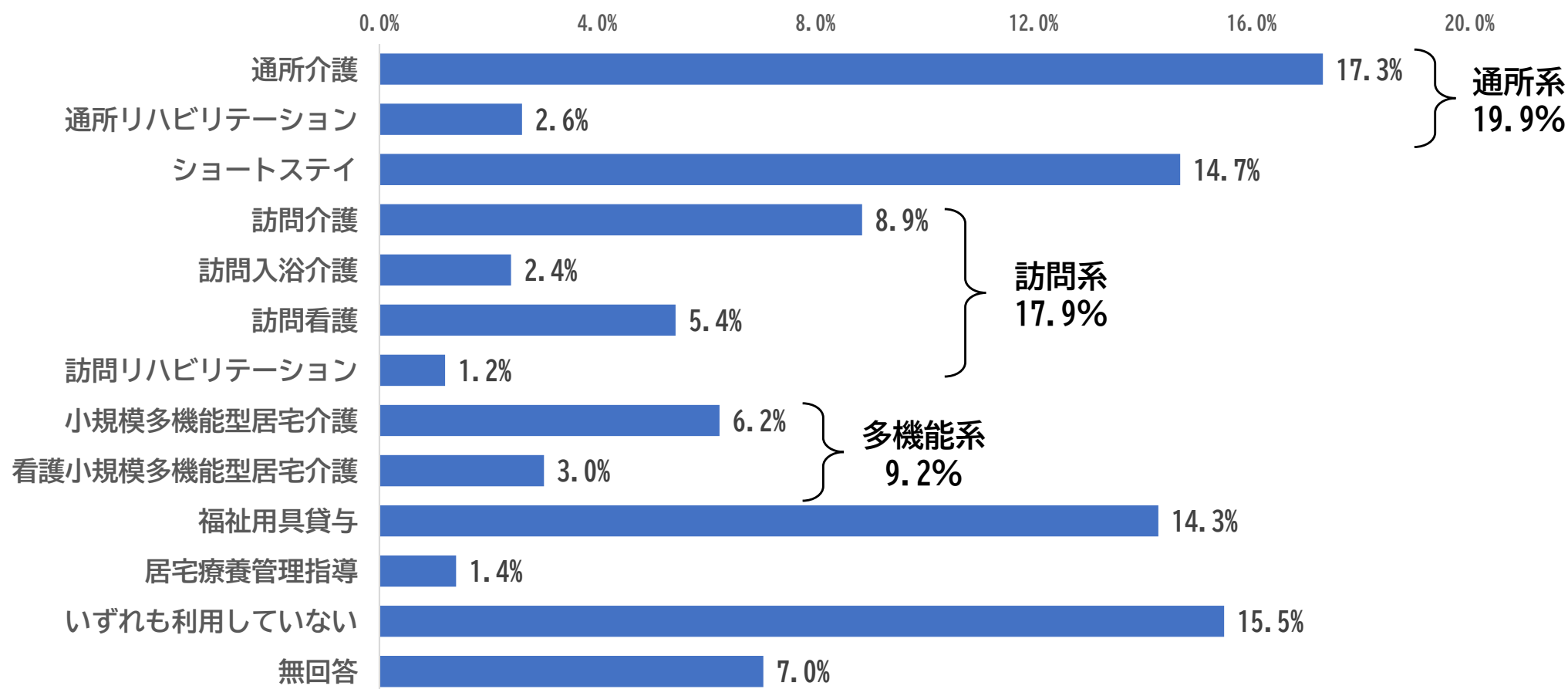


回答者の特性

■問4 利用している介護サービス(複数回答可)

利用しているサービスでは、通所介護（17.3％）が最も多く、次いでショートステイ（14.7％）となっています。

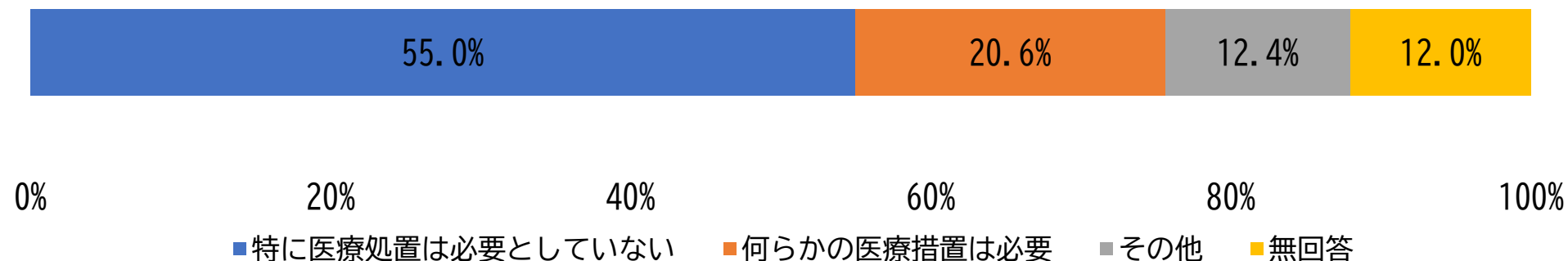
サービス系統では、通所系（19.9％）と最も高く、訪問系（17.9％）、短期入所系（14.7％）と続いています。



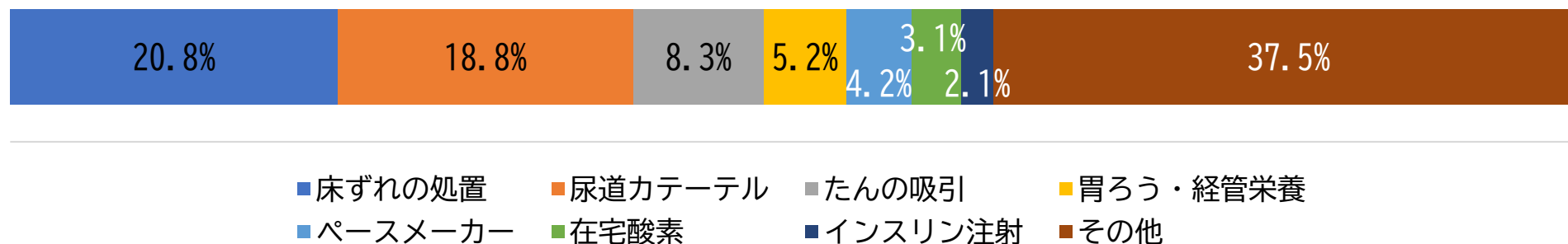
■問5 医療処置の要否

申込者の約6割は医療処置不要で、医療処置必要者は約3割となっている。
医療処置内容では、床ずれの処置（20.8%）が最も多く、次いで、尿道カテーテル（18.8%）、たんの吸引（8.3%）となっています。
その他（37.5%）の自由記載では、「人工呼吸」「中心静脈栄養」「ウロストミー」など高度な医療対応が必要な事例もありました。

医療処置の要否



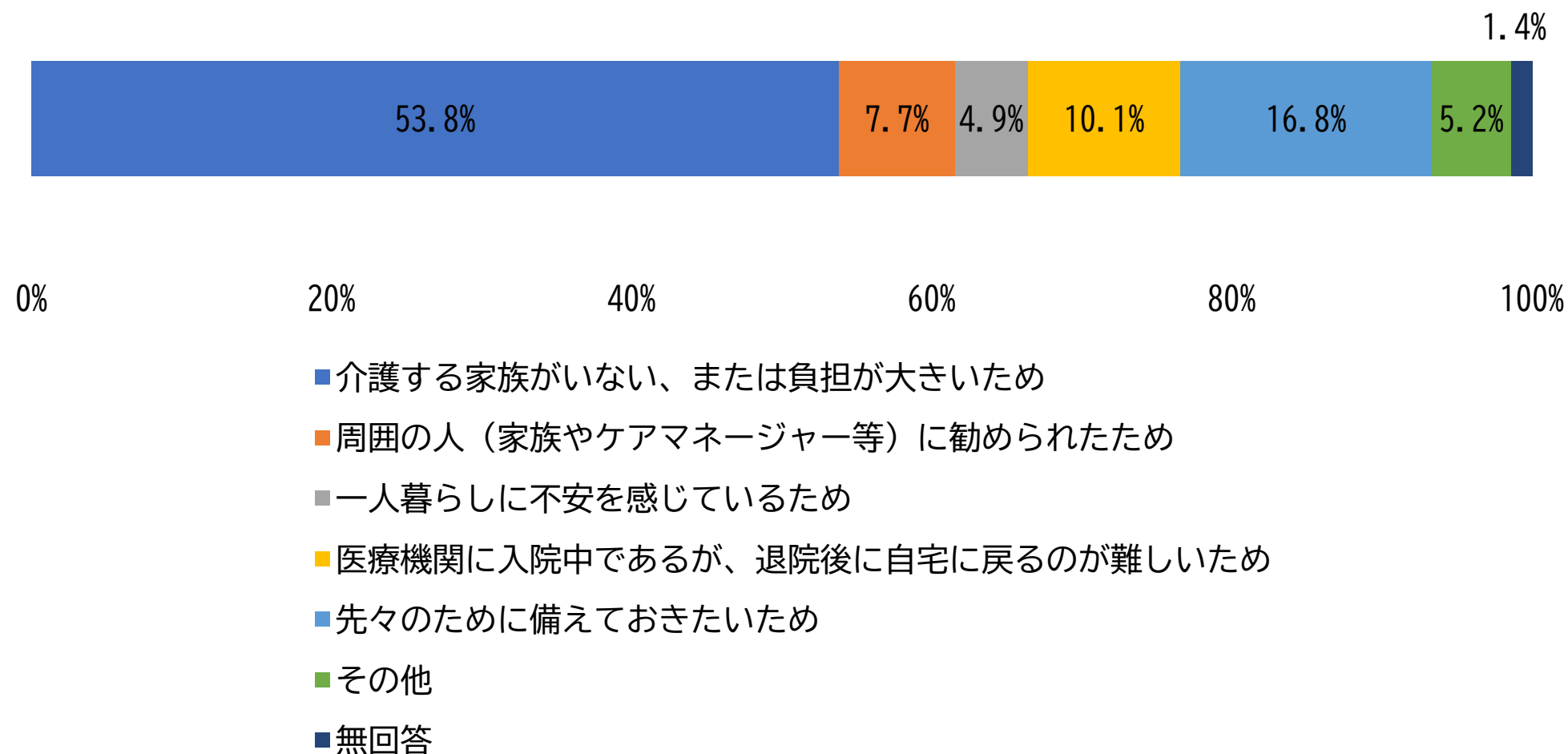
医療処置内容



入所ニーズの緊急性①

■問6 入所を希望する理由

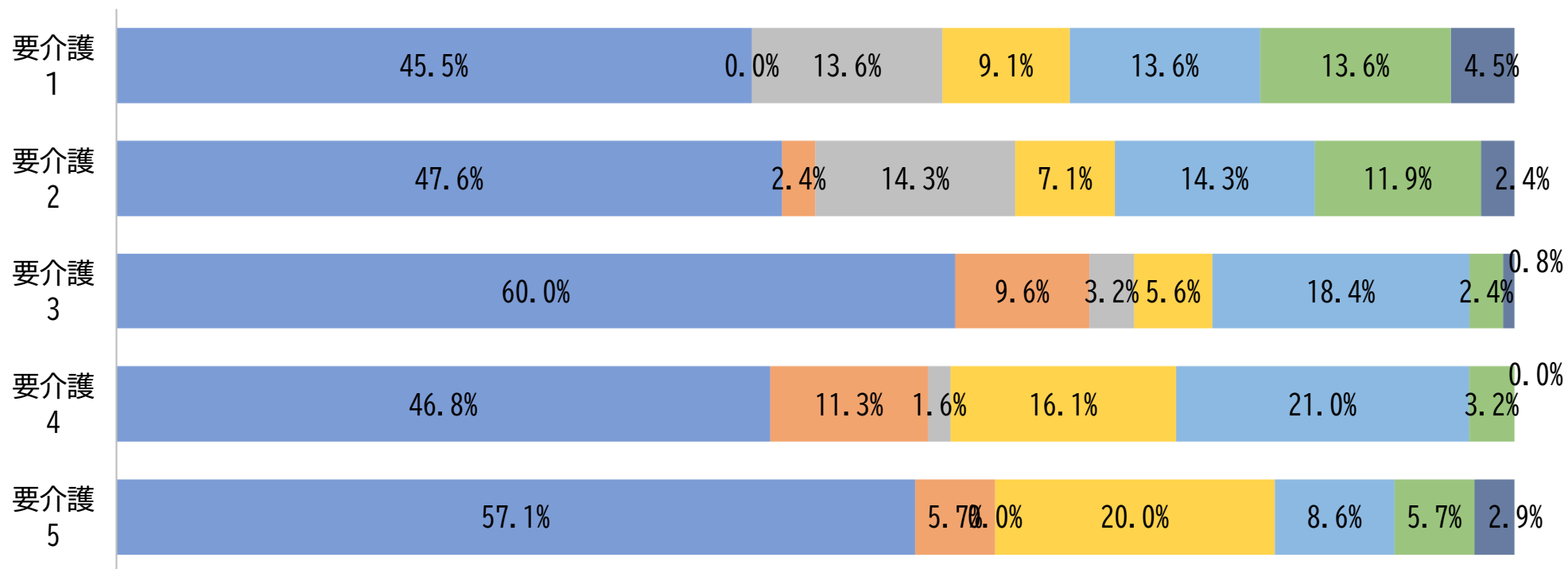
介護する家族がない、または負担が大きいため（53.8%）が半数を占めています。介護度別も同様に、家族介護の継続が困難な状況が最大の入所理由となっています。



入所ニーズの緊急性①

■問6 入所を希望する理由

※入所を希望する理由（介護度別）

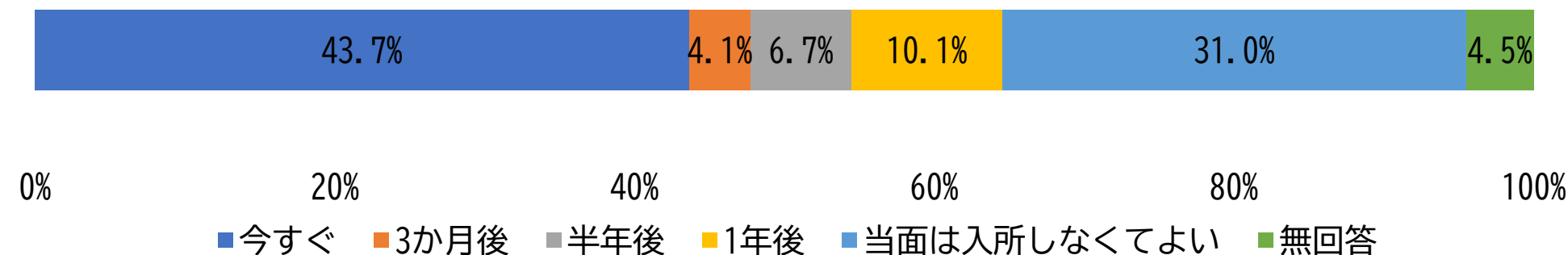


- 介護する家族がない、または負担が大きいため
- 周囲の人（家族やケアマネージャー等）に進められたため
- 一人暮らしに不安を感じているため
- 医療機関に入院中であるが、退院後に自宅に戻るのが難しいため
- 先々のために備えておきたいため
- その他
- 無回答

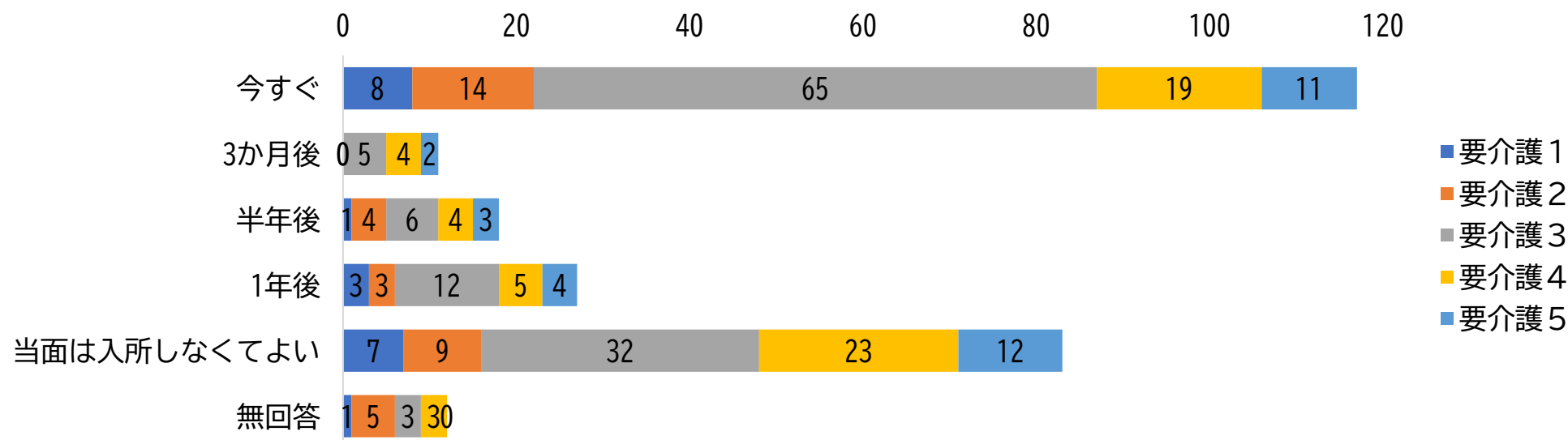
入所ニーズの緊急性②

■問7 入所したい時期

今すぐ（43.7%）が最も多く、次いで、当面は入所しなくてよい（31.0%）、1年後（10.1%）となっています。

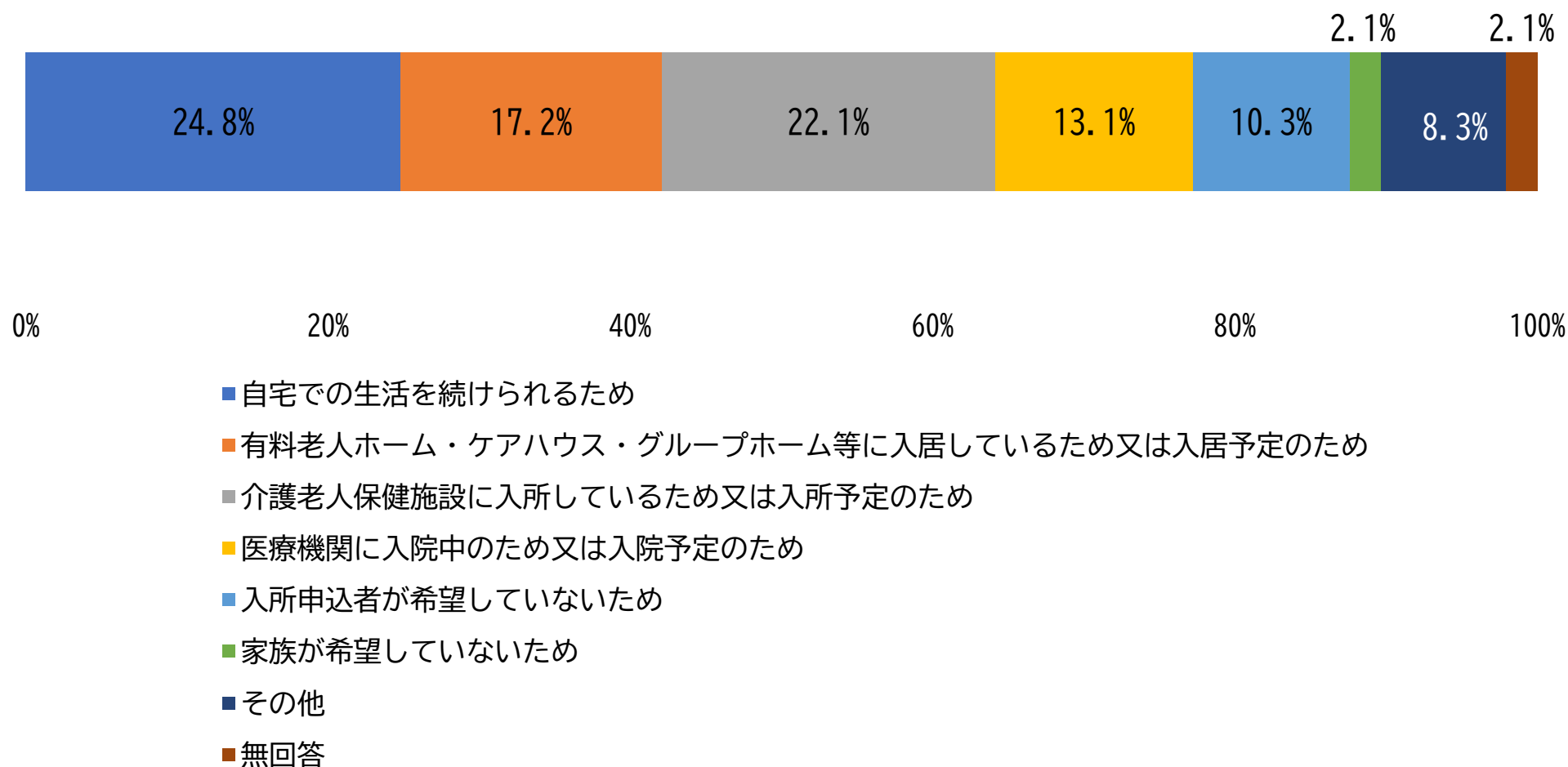


※入所したい時期（介護度別）



■問8 (問7で2～5と答えた方)今すぐ入所を希望しない理由

介護施設、医療機関等に入所又は入所予定のため（52.4％）と半数を占めており、ついで自宅での生活を続けられるため（24.8％）となっています。



入所ニーズの緊急性③

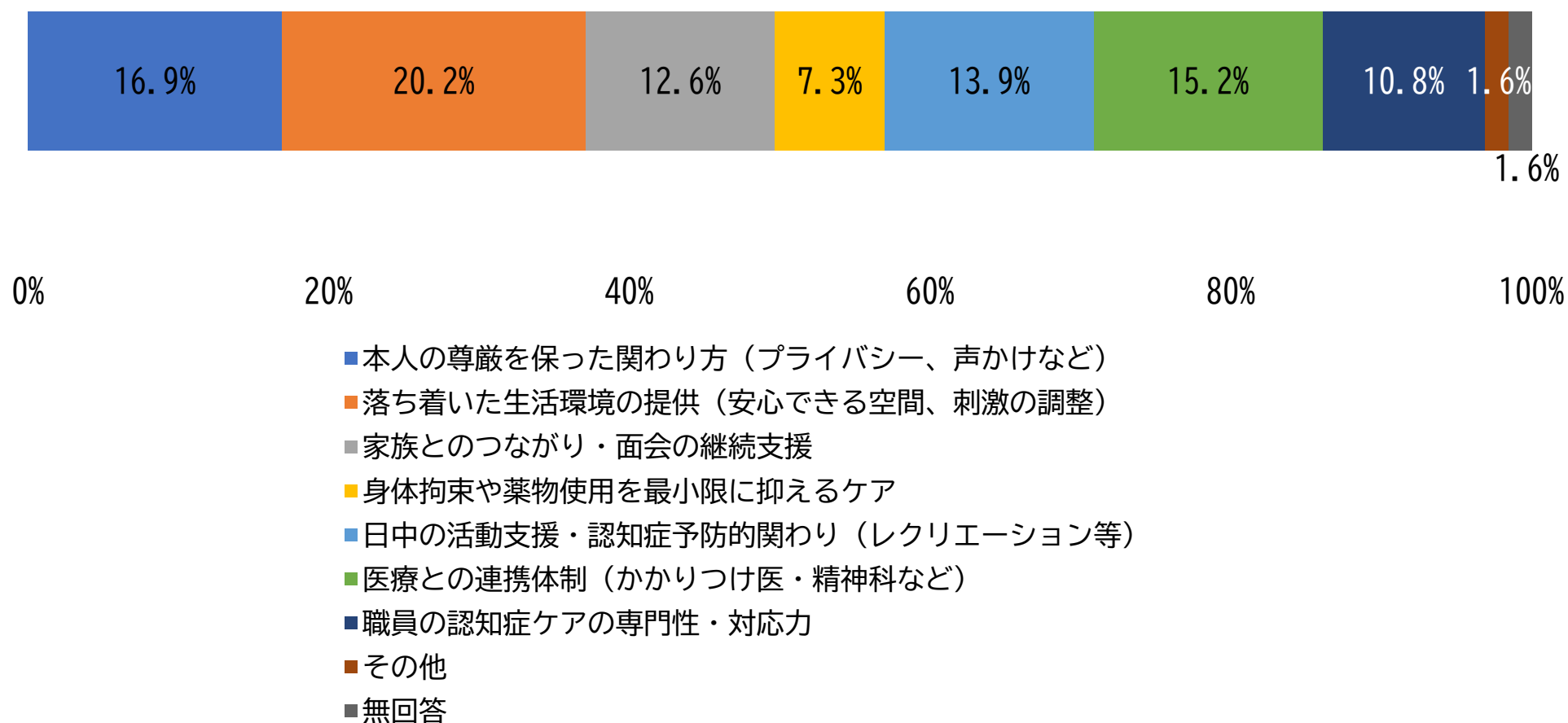
■問7入所したい時期×問8（問7で2～5と答えた方）今すぐ入所を希望しない理由 クロス集計

	3か月後	半年後	1年後	当面は入所 しなくてよ い	総計
自宅での生活を続けられるため	2	5	5	24	36
有料老人ホーム・ケアハウス・グループホーム等に入居 しているため又は入居予定のため	4		5	12	21
介護老人保健施設に入所しているため又は入所予定 のため		6	5	17	28
医療機関に入院中のため又は入院予定のため	4	2	1	11	18
入所申込者が希望していないため		3	4	8	15
家族が希望していないため				3	3
その他		2	5	8	15
総計	10	18	25	83	136

入所ニーズの緊急性③

■問9 特別養護老人ホームでの支援で特に重視したいことを教えてください。。

落ち着いた生活環境の提供（20.2%）が最も多く、次いで本人の尊厳を保った関わり方（16.9%）、医療との連携体制（15.2%）となっています。



考察まとめ

■現在のサービス利用状況から読み取れる満足度

通所系全体で**19.9%**、訪問系（**17.9%**）、短期入所系（**14.7%**）、多機能系（**9.2%**）など、自宅での生活を保ちながら、複数サービスの利用により、対応できている世帯がいることを示唆。

■家族介護の負担感

入所理由の**53.8%**が「介護する家族がいない、または負担が大きいため」。特に要介護**3**以上では**60.0%**に達している。在宅介護の支援体制が不十分、または家族の心理的・身体的負担が過大

■将来的な老々介護のリスク

夫婦のみ世帯**16.4%**のうち、配偶者**65**歳以上が**15.7%**。将来的な老々介護の顕在化が予測される

■医療ニーズの複雑化

約**30%**が何らかの医療処置を必要としている。「その他」**37.5%**に「人工呼吸」「中心静脈栄養」など高度な医療対応が必要な事例も。一般的な特別養護老人ホームでは対応困難な利用者が相当数存在。

■家族介護の継続可能性

一人暮らし**41.0%**、夫婦のみ**16.4%**、合計**57.4%**が家族介護が困難（将来的な老々介護）世帯。要介護**3**以上の**60.0%**が「家族負担が理由」となっており、在宅介護の支援強化も。

■緊急性と現実のギャップ

「今すぐ」希望者**43.7%**に対し、「当面は不要」が**31.0%**ある。実際の入所事務でも、順番がきても入所につながらないケースも見受けられる。問8で約**52.4%**が「他施設に入所又は入所予定」となっており 特別養護老人ホームへの申込が、必ずしも最優先のニーズではない可能性も。

■入所を希望しない理由から見える

「自宅での生活を続けられるため」**24.8%**、「他の介護施設に入所又は入所予定（有料老人ホーム、老健等）」**39.3%**で、約**65%**が現在の生活状況が安定してる傾向がみられる。

■入所申込者は「最後の砦」として登録している

約半数が他の介護施設に既に入所中。特別養護老人ホームへの申し込みは「将来的な保険」として考えている可能性も。